

埼玉サイコネフロロジー研究会 第2回研究会のご案内

腎不全・血液透析は苦痛と生活の制約を伴う代表的な慢性疾患の1つです。これに関係して、透析の患者さんには、さまざまな心理的問題や精神症状、行動の異常が起こります。これらが患者さんに強い苦痛を与え、治療とケアを妨げ、医療者やそのほかのケアギバーにとって大きな負担になることも稀ではありません。このような問題への対応が非常に難しいと感じることも多いと思います。

そこで、透析の患者さんの心理と行動について、私たちが日常の臨床で経験している問題を取り上げ、みなで検討する機会が必要ではないかと考え、この研究会を作りました。主に具体的な事例についての検討を行いたいと思います。

第2回研究会の日程、プログラムなどは以下のようになっています。医療関係者で、この問題が重要だとお考えの方、関心をお持ちの方、日常臨床で困ることが多いと感じている方にぜひご参加いただきたいと思います。なお、ご不明の点は、以下の事務局までお問い合わせ願います。

平成20年6月吉日

日時と場所：平成20年7月24日（木）18時30分から20時まで、ラフレ埼玉

懇親会：20時10分から

研究会参加費：1000円

懇親会参加費：不要

事前登録：不要

事務局：埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック医局内

住所：〒350-8550 川越市鴨田辻道町1981

Tel/Fax：049-228-3605、E-mail：psy1@saitama-med.ac.jp

世話人：大島譲二（久保島クリニック）、小川智也（埼玉医科大学総合医療センター内科）、栗原 怜（さいたま・つきの森クリニック）、斉藤 卓（斉藤記念病院）、田邊明美（川越駅前クリニック）、堀川直史（埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック）、松木秀幸（同）、松田昭彦（埼玉医科大学総合医療センター内科）、松村 治（同）、村上綾子（さくら記念病院）、渡辺俊之（高崎健康福祉大学）

共催：埼玉サイコネフロロジー研究会
ファイザー製薬（株）

プログラムと抄録

症例検討 18時30分－19時15分

座長 小川智也（埼玉医科大学総合医療センター内科）

演題1 透析導入前後における看護介入は必要：難渋する腹膜透析導入患者を経験して

長尾典子、原田悦子、監物玲子、関谷とみえ、伊勢康雄、田邊厚子、小川智也、松田昭彦、松村 治、御手洗哲也、堀川直史

埼玉医科大学総合医療センター人工腎臓部、同メンタルクリニック

演題2 神経性食思不振症を伴う透析患者のかかわり

影山優子、椎名聖子、斉藤征実、木部 緑、廣瀬美津代、市川由美、伊藤美恵、根岸 恵、内山晴美、大湯 恵

友愛三橋クリニック看護部

演題3 腎疾患に併存した社会不安障害への認知行動療法の適用

小林清香

東京女子医科大学神経精神科、埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック

特別講演 19時25分－20時10分

座長 堀川直史（埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック）

演題 透析スタッフと患者の心理的關係について

渡辺俊之

高崎健康福祉大学